

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				経営理念、接遇目標を事務所に掲示し朝礼で唱和している。	
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			定期巡回と有料老人ホームの区分けについて研修を計画を実施した。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーター)の判断能力などの向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している			○		各利用者担当の職員に、モニタリングシートに要望や対策を記入し、その方にあつたケアができるよう毎月学習している。	松本市や包括が主催する研修会へもご参加いただけると幸いです。利用者や家族からすると職員により介護の質が変わらないことを望みます。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している			○		職員の能力、技術が発揮できるようシフトを組んでいる。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				ケアの統一認識の為スマケア、ラインワークスで活用している。	介護職間の伝達不十分
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている			○		訪問の空き時間には施設の業務を行う等工夫している。	組織をマネジメントするのに十分な人数の数ほそろっているのでしょうか。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		年2回開催している。	定期開催していただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			スマケア、ラインワークスを活用し職員のチェック欄を設け、職員全員が情報を共有、ケア統一になるように工夫している。	情報共有不十分
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				BCP計画の作成あり。年2回防災訓練を行っている。	夜間や休日等、人数が手薄になる際の防災についても留意してください。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			契約時個人情報の取り扱いに関する同意書を交わしている。個人ファイルについては見えないところにしっかり管理できている。	個人情報の記載されたファイルがしっかり管理されているので安心です。
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			規則正しい食事時間と睡眠時間の確保ができるよう日課を決めている。	施設としてのリズムでなく個々の生活リズムに着目してほしい。食事時間が規則正しい事は利用者本人より好評。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つぎ合わせ等が行われている		○			介護員・看護師でその日の申し送りをスマケアで共有し情報収集している。	スマケアをのぞかせていただいています。家族にも情報共有でき良いことと思います。スマケアで血圧等のデータを確認したいです。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			○		回復というより現状維持を目標に計画している。リハビリをして機能向上の目標も考慮し計画の立てている。	年齢を重ねているので現状維持を目標とするので充分であるかと思えます。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ご家族その他の関係者と話し合い今後のケアにつなげ意向確認をしている。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に		○			利用者に合わせたケアができるようご家族ケアマネに連絡しサービス提供の日時変更は柔軟に対応で	連絡者の統一を。柔軟に対応を行っていただけると安心につながります。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			利用者様に適した計画になるようケアマネに状況を提示し反映されている。	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								

介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○			カンファレンスでその都度介護員、看護師で共有し役割分担している。	担会に看護介護が参加してくれることで、それぞれの目線で話が聞けています。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○		疾病予防や対応等詳しくカンファレンスや会議に取り入れて注意事項として伝えている。	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われて		○		ケア内容や相談はその都度サービス計画責任者より説明している。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○		担当者会議や電話連絡、面会時に説明している。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○			随時担当者会議を開いていただき報連相に取り組んでいる。	変化時は連絡があり状況が分かりやすいです。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○			ケアの変更相談本人の希望があった際は密に連絡を取るようになっている。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている			○	外出の計画等柔軟に対応している。(福祉ひろば等)	地区サロンや文化祭、お祭り等へもご参加いただければと思います。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○		会議を施設で開催してもらい生活の場を見ながら情報共有している。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献							
利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)			○	訪問理美容や介護タクシーの紹介をしている。	情報提供できることもあるかと思います。ご相談いただければと思います。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○		ケアマネに協力を得ながら連携をはかり必要に応じてカンファレンスを開催している。	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※	○			ケアマネ・多職種と相談しながら適宜行っている。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○		ホームページに掲載している。	ホームページのどこにあるのかわかりませんでした。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○	相談にはパンフレットを活用しながら行う。	地域住民の皆様へも周知・広報をお願いいたします。
(2) まちづくりへの参画							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○	計画の内容は、職場の会議等で取り扱い、共有している。	今後も職員の皆様への周知をお願いいたします。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○		在宅の利用者にもサービス提供している。	在宅サービスの対応が拡大されるといいと思います。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)		○		コミュニティカフェを毎月行っており地域交流を行っている。	地域住民の皆様が集まり交流できる場を作り継続していただきありがとうございます。良いことです。続けていただきたい。地区文化祭にも出品していただきありがとうございます。
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○		在宅生活の継続、安心安全に療養生活を継続する等、達成出来ている。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○		在宅の利用者より感謝の言葉を得ている。	

その他

外部評価コメント欄に文章欄と外部自己評価欄もあれば対比ができると思います。